

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116 / ㊟75-2110

▼小型ポンプ操法の競技で、的を狙い定めて放水する団員



健闘！総合優勝は西多久分団

第47回多久市消防団総合訓練大会

消防団員の日頃の訓練の成果を発揮する多久市消防団訓練大会が、9月6日に多久市陸上競技場で行われました。

今年は、一新した小型動力ポンプでの操法など5種目を各分団で競いました。消防団員は、早朝や仕事が終わってからの時間帯に訓練をくり返し、この大会に挑んでおり、その動作は機敏で堂々としたもの。地域の方々の生命・財産を守るために、昼夜問わず献身的に活動を続けている消防団員の姿を再確認できた大会でした。

各種目の成績は、次のとおりです。

- 訓練礼式の部＝西多久分団
- 小型ポンプ操法の部＝西多久分団第二部
- 自動車ポンプ操法の部＝北多久分団本部
- ラッパ吹奏の部＝西多久分団
- 総合優勝＝西多久分団

感謝の気持ちを込めた教室が実現

武富豊監督が故郷の子どもたちにも陸上指導

シドニー・アテネ・北京と五輪3大会連続で女子マラソン代表選手を送り出している天満屋女子陸上部の武富豊監督による『陸上教室』が9月21日、陸上競技場で開かれました。

「後輩たちの活躍は私にとっても励み。ふるさと多久からいただく応援や激励に恩返しをしたい」という監督の意向で実現したもので、小学生や多久ランニングクラブの中学生、多久高陸上部員など約70人が参加。シドニー五輪7位入賞の山口衛里選手（現在コーチ）・寺田恵選手・栗栖由江選手も指導にあたり、天満屋でも行うウォーミングアップ、基礎トレーニングの後、小学生はゲーム感覚で、中・高校生は時間の管理をテーマに、故障しないための身体づくりや効率的な走り方など、上達法を直伝。武富監督は、「まずは、食事や睡眠など生活のリズムをきちんと守り、維持することが大事。多久は練習する環境もいいため頑張ってもらってほしい、この教室が夢実現のきっかけになれば嬉しい」などとエールを贈り、ふれあいを楽しませていました。



▲基礎トレーニングを受ける参加者

地域が一丸となった 体育大会 総合優勝は北坊地区

9/20



9月は市内各地で体育大会が開かれ、イチヨウの木が銀杏の実をつけた納所小学校のグラウンドでも地域が一丸となって小学生と校区民が合同体育大会を楽しみました。「転んでもあきらめないで、最後までゴールを目指そう！」をスローガンに、誰もが力走や笑顔で競技と秋の一日を満喫。総合優勝は北坊地区、準優勝は大畑地区でした。

剪定のおかげで 明るさ復活

9/12



シルバー人材センターの3人の有志が、西溪中にある水銀灯に覆いかぶさっていた植木の剪定を行いました。3人は、「地域の防犯や学校・生徒のために」と、ボランティア活動を申し出たもので、2時間ほどかけて作業。切枝は2トラック1台分にもなり、学校は「重要な灯りです。これから日暮れが早くなるので助かります」と感謝されています。